

かがやく花々

平和の子ら

学校法人平和学園
平和学園小学校
2015年度 学校だより 第7号
〒253-0031
神奈川県茅ヶ崎市富士見町5-2
Phone 0467-87-1662/ 0131
Fax 0467-87-0411
サイト <http://www.aletheia.ac.jp/s/>

年間聖句 (2015年度)

子たちよ、言葉や口先だけではなく、行いをもって誠実に愛し合おう。
ヨハネの手紙 一 3章18節

平和を考える

校長 橘 明子

秋の爽やかな風が吹く季節になってきました。四季の素晴らしさを肌で感じられる恵みに感謝しています。しかし、自然がもたらす災害に苦しむ地域があり、胸が痛む事故や事件が毎日のように起こっている現状があります。神さまからいただいた命が簡単に奪われてしまう憤り。せめて今できること、私たちは小さな平和を望み、「社会に、世界に、平和が来ますように」と祈る日々を過ごしていきましょう。

9月は「スポーツや読書、食の秋」と言われる秋の始まり。子どもたちにとっては大きく成長するときです。私立小学校水泳大会、アレセイア湘南中学高等学校の平和祭もまた、子どもたちの良い経験になったことでしょう。

そして、9月18日(金)～19日(土)は「平和をともに」でした。平和学園小学校が大切にしている行事の一つです。今年の「平和をともに」の礼拝でお話をしてくださったのは、茅ヶ崎平和教会の牧師大澤秀夫先生でした。

「礼拝はどうしてするのかな。」

「礼拝って何だろう。」

とお話してくださいました。礼拝を大切にしている私たちに、優しく語りかけてくださった大澤先生。聖書の御言葉に耳を傾けて、静かに手を合わせて祈ること、これからも大切に守り続けたいと思いました。

また、各学年の子どもたちが、「平和をともに」を迎えるために、自分自身と向き合い、クラス全員で「平和」を深く考え話し合っ準備をしてきました。自分のこと、友だちのこと、まわりの環境、悲しい歴史など。この二日間、外部の方々、保護者の皆さまに「平和」を伝えたいと子どもたちは思いました。一人ひとりが自分の思いを仲間に伝え、意見のすれ違いが生じ、それでもなおみんなで考えました。この経験によって子どもたちの心に蒔かれた平和の種。いつかその種が育ち、神さまの御心に叶うものとして用いられると信じています。

平和学園小学校では、日々の生活の歩みの中にいつも「平和」が意識されています。皆さまは「平和」という言葉からどのような想像をされるのでしょうか。「平和」ってどういうことですかと問われたら、何と答えますか。穏やかなこと、静かなこと、優しさや温かさなどを想像し、答える方が多いのではないのでしょうか。私たちの社会は、このような言葉にふさわしい社会なののでしょうか。子どもたちの学校生活を考えてみても、様々なことがあります。優しい関係だけではなく、時には苦しい、厳しい時もあります。私たちは、一人ひとり、これからも「平和」をいのり、考えて時には言葉で、時には行動で「平和」を伝え続けていきたいと思ひます。

平和学園小学校では、日々の生活の歩みの中にいつも「平和」が意識されています。皆さまは「平和」という言葉からどのような想像をされるのでしょうか。

「平和」ってどういうことですかと問われたら、何と答えますか。穏やかなこと、静かなこと、優しさや温かさなどを想像し、答える方が多いのではないのでしょうか。私たちの社会は、このような言葉にふさわしい社会なののでしょうか。子どもたちの学校生活を考えてみても、様々なことがあります。優しい関係だけではなく、時には苦しい、厳しい時もあります。私たちは、一人ひとり、これからも「平和」をいのり、考えて時には言葉で、時には行動で「平和」を伝え続けていきたいと思ひます。

